

令和4年度

事業報告書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

1 地域スポーツ普及振興事業 (5,305 事業 107,417 人)

(1) 教室事業・交流大会 (5,245 事業 90,810 人)

ア スポーツ教室事業 (5,158 事業 74,831 人)

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウォーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめるきっかけとなるプログラムを実施した。白石温水プールの水泳事業では教室自動継続化の試行を行い、教室抽選による落選者を作らない仕組み作りを実施した。さらに、障がい者スポーツ普及の観点から、水泳教室として「チャレンジスイミング」、体操教室として「チャレンジジム」を実施した。(5,043 事業 67,027 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそびい・ろ・は」「厚別アスリートアカデミー」などのスクール事業(27 事業 1,122 人)、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」(2 事業 34 人)を継続実施するとともに、「カーリング教室・体験会」「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室(76 事業 6,435 人)、施設間合同事業として市内を9グループに分けて施設を横断的に利用する多項目体験型教室「DO!スポKIDS」、高齢者を対象とした健康に関する知識と実践力を身に付ける「DO!スポンニア健康塾」(10 事業 213 人)など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

イ スポーツ大会、スポーツイベント事業 (87 事業 15,979 人)

各施設において、「スポーツの日無料開放」や「さっぽろスポーツDAY」の無料開放(50 事業 12,382 人)をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるテニスやサッカーなどの多種多様なスポーツ大会、アイスホッケーやカーリングなどのウインタースポーツ大会、教室受講生を対象とした泳力検定会やダンス発表会などのイベント事業を開催した(36 事業 3,189 人)。また、複数の管理施設合同の「協会杯朝野球大会」(1 事業 408 人)を開催した。

(2) 普及啓発事業 (45 事業 12,014 人)

ア ウインタースポーツ塾／受託事業 (1 事業 6 種目 757 人)

札幌市からの受託事業として市内の小学生を対象にウインタースポーツ6種目(フィギュアスケート・カーリング・リュージュ・スノーボード・スキージャンプ・クロスカントリースキー)の体験会の企画・運営を担った。2日間実施し、757人が参加した。

イ さっぽろっ子スケートチャレンジ検定事業／受託事業 (1 事業 732 人)

札幌市からの受託事業として小学生を対象に3会場(月寒体育館、美香保体育館、星置スケート場)で全29回実施。732人が参加し917枚の認定証が発行された。

ウ 歩くスキー常設コース事業／受託事業 (2 事業 白旗山 2,050 人／中島公園 4,143 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

エ ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 719 人)

管理5施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟(IVW)のイヤラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。なお、ウォーキングステーション管理施設である西区体育館・温水プールは施設保全工事のため6月1日～3月31日まで休館となり、休館期間は4事業12コースでの実施となった。

オ スポーツキャラバン事業（30事業 1,169人）

町内会及びPTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、ニュースポーツ用具の貸出などを行った。

(7) 出前講習会

イベントや企業での体組成測定やクロスカントリースキー体験（3事業 443人）。

(イ) 指導員派遣

連合町内会などの講座への指導員派遣（2事業 726人）。

(ウ) ニュースポーツ用具のレンタル

ストライクボードなどのニュースポーツ用具を貸出（25事業）。

カ 小学校水泳授業受入事業/受託事業（4事業 1,887人）

札幌市からの受託事業として、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、東温水プールの4施設において水泳授業を実施した。大谷地小学校、東橋小学校、東山小学校、元町北小学校。

キ タグラグビー親子体験教室/受託事業（2事業 557人）

札幌市からの受託事業として市内の小学生の親子対象で行うタグラグビー体験教室の企画・運営を担った。夏は月寒屋外競技場、冬は北ガスアリーナ札幌46と手稲区体育館で実施し、延べ557人が参加した。

(3) 地域コミュニティ活性化事業（9事業 2,213人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し、指定管理施設では「手稲スポーツレクリエーション祭り」「東区健康スポーツまつり」「パークゴルフ大会」「朝野球大会」「アツベツハンドメイド」や「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」（7事業、1,719人）、指定管理施設以外では「花いっぱいプロジェクト」「ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山」（2事業、494人）で地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、水難事故防止を呼び掛けることを目的とした啓発事業「着衣泳体験会」を実施した。

(4) 障がい者スポーツの促進に関する事業（6事業 2,380人）

ア 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市のスポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（7月・3月開催）。

イ 冬季障がい者スポーツ指導者養成及び体験事業/受託事業（1事業 15人）

障がい者スポーツの中でも特に指導者が不足しているウインタースポーツに関して、養成講習会と指導の場となる体験会を開催した。

(7) シットスキー指導者養成講習会：1月9日（月・祝） 中島公園

(イ) バイスキー指導者養成講習会：12月18日（水）・19日（木） サッポロティネ

(ウ) バイスキー指導者養成講習会体験会：2月23日（木・祝） 藤野野外スポーツ交流施設

ウ 冬季障がい者スポーツ体験イベント/受託事業（1事業 312人）

月寒体育館・月寒屋外競技場・どうぎんカーリングスタジアムにて、2月16日（日）「雪にふれよう！わくわくウインターフェスタ冬季パラスポーツ体験会」を開催した。

エ パラスポーツ理解促進イベントの共催（1事業 39人）

(7) やってみよう楽しいスポーツ！ふれてみようおもしろいパラスポーツ！2022：8月11日（木・祝） 北区体育館

(イ) やってみよう楽しいスポーツ！ふれてみようおもしろい冬のパラスポーツ！2023：3月4日（土） 中島体育センター他

オ パラスポーツ出張事業（3事業 2,014人）

(7) 「イオン de パラスポ」でのボッチャ・シットスキー体験コーナーの運営。延べ1,648人

- 5月29日(日)、7月9日(土)・10日(日) (イオンモール札幌発寒)
8月6日(土)・7日(日) (イオンモール札幌苗穂)
10月15日(土)・16日(日) (イオンモール札幌平岡)
- (イ) スペシャルオリンピック日本・北海道「EKSDay2022」共催
7月18日(月・祝) (北ガスアリーナ札幌46) 延べ270人
- (ウ) さっぽろスノースポーツフェスタ2023
2月11日(月・祝) (真駒内セキスイハイムスタジアム) 96人

2 スポーツ大会・イベントの開催及び誘致等(70事業 32,364人)

(1) 札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの普及・振興・発展を図り、健康の維持増進と文化生活的の向上に資することを目的に実施した。

ア 第63回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開催日：5月20日(金)

会場：札幌市教育文化会館 小ホール

参加者数：138名

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民スポーツ大会開催経費の一部を補助する。

事業数：47事業(47競技)

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため1競技は未実施、5競技は中止した。

参加者数：15,476人(指定管理施設外：1,104人)

(2) 第45回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、支笏湖までの33kmコースを歩く初夏の北海道を満喫するウォーキングイベント。新型コロナウイルス感染症感染拡大対策のため、33kmコースのみ実施した。

開催日：5月22日(日)

会場：真駒内中学校～支笏湖ポロピナイ

種目：33km

参加者数：412名

(3) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム2022

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソンで3年振りの開催。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

開催日：9月10日(土)

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：3,770人

(4) 第47回札幌マラソン

ハーフマラソン及び10kmは日本陸上競技連盟公認コースで、3年振りの開催。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

開催日：10月2日(日)

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム

種目：ハーフマラソン、10km、ファンペア他

参加者数：8,178人

(5) 第43回札幌国際スキーマラソン

クロスカン트리スキーの普及を図る国際連盟「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。
雪不足、新型コロナウイルス感染症の影響等で会場での実施は4年ぶり。

開催日：2月5日（日）

会場：白旗山競技場及び周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー10km・4km

参加人数：775人（国内746人、国外29人）

(6) スポーツ大会・合宿誘致及びスポーツツーリズムの推進事業（11事業 2,183人）

さっぽろグローバルスポーツコミッションの事務局として、国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行った。

ア 国際大会誘致・合宿受入支援事業、見学・体験会事業（4事業 675人）

(7) どうぎんカーリングクラシック2022 車いすカーリングエキシビジョンマッチ 参加者数：51人

(4) TOK10 インカラミ presents PARKOUR PREMIER CUP 2022 in 札幌 参加者数：52人

(9) 2022NHK杯国際フィギュアスケート競技大会体験会・公式練習見学会 参加者数：534人

(E) CO・OP2023FISパラ・ノルディックスキーアジアカップ札幌大会 参加者数：38人

イ スポーツツーリズム推進事業（4事業 1,371人）

(7) Sapporo Snow Park（中島公園歩くスキーコース） 参加者数：1,234人

(4) 海外プロモーション事業

豪州向け事業（Snow Travel Expo2022 北海道ブースへの出展）

米国向け事業（パタゴニアと連携し、道内スキー場の取材・アンバサダーによる記事投稿）

ウ マラソンツーリズム推進事業

(7) 街RUN 中島公園 利用者数：105人

(4) ランニングイベント「はじめてのラン&ヨガ教室」 参加者数：24人

(9) 距離表示板の設置

エ スノーリゾート事業

(7) 定山溪温泉（JZK）ステイ・近隣スキーPRのためのインフルエンサー招聘業務

(4) モニターツアー企画・運營業務 参加者数：8人

(7) スポーツボランティアの啓発普及事業（3事業 1,432人）

ア スマイルサポーターズ登録管理 登録者数：1,070人（システム統合のため人数減）
ボランティア新システム導入

イ スポーツボランティア広報

(7) SGSC ホームページ「スポーツボランティアページ」リニューアル

(4) 会報誌「With Smile」の発行

ウ スポーツボランティア派遣・研修会

(7) 大会・イベントへの派遣 派遣人数：1,107人

(4) 研修会の実施

(9) 小学校スキー学習支援事業 派遣校数：57校 派遣人数：321人

(E) 小学校スキー学習支援事業（シットスキー支援） 派遣校数：3校 派遣人数：4人

(8) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 2022 札幌30K

開催日：7月3日（日）

会 場：モエレ沼公園

参加者数：479 人

イ 北海道マラソン

開 催 日：8 月 28 日（日）

会 場：大通公園等

参加者数：18,290 人

ウ ほっかいどう大運動会 2023

開 催 日：2 月 18 日（土）

会 場：札幌ドーム

参加者数：407 チーム/2,692 人

エ 札幌市室内陸上競技大会

開 催 日：3 月 19 日（日）

会 場：札幌市スポーツ交流施設

参加人数：809 人

3 競技力向上・普及促進事業（307 事業 11,397 人）

(1) 加盟競技団体及びスポーツ団体等との連携、支援に関する事業

ア 加盟競技団体への支援など

加盟団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実等についての指導・助言を行った。

また、加盟団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行った。

加盟団体理事長・事務担当者会議

開 催 日：3 月 7 日（火）

会 場：北海道立総合体育センター

内 容：令和 5 年度各種補助金事業取扱について 他

イ スポーツ団体との連絡調整

北海道スポーツ協会及び、北海道内のスポーツ団体と連携し、加盟競技団体並びにスポーツ団体等に対する組織強化、育成に関する事業を円滑に行った。

(2) 競技力向上・普及促進事業（97 事業 9,814 人）

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行った。

ア 競技力向上指導者講習会（1 事業 23 人）

開 催 日：12 月 22 日（木）

会 場：北海道立総合体育センター

内 容：『金メダルへの道のり～指導者との出会いに感謝～』

講 師：札幌オリンピックミュージアム 名誉館長 阿部 雅司 氏

参加者数：23 人（うち、オンライン 11 人）

そ の 他：自宅で受講できる環境整備のため、オンラインによる同時配信を行った。

イ 競技力向上事業（66 事業 7,234 人）

(7) 加盟団体が行う選手強化育成事業への経費補助

（27 団体 57 事業、参加者 5,509 人 指導者 987 人）（指定管理施設外：2,946 人）

(4) 加盟団体が行う指導者育成事業への経費補助

(5 団体 9 事業、参加者 609 人 指導者 129 人) (指定管理施設外：27 人)

ウ 普及促進事業 (30 事業 2,557 人)

(7) 加盟団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助

(12 団体 19 事業、参加者 968 人 指導者 212 人) (指定管理施設外：657 人)

(4) 加盟団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助

(8 団体 11 事業、参加者 1,146 人 指導者 231 人) (指定管理施設外：1,026 人)

(3) さっぽろアスリートサポート事業 (74 団体 198 事業 1,073 人)

次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分の助成を行った。

ア 市民スポーツ振興事業 (2 団体 2 事業 388 人)

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成を行った。

(第 5 回春のさわやかマラソン、オールジャパンアマチュアキックボクシング 2022 北海道予選大会)

イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業 (39 団体 163 事業 297 人)

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成を行った。

(7) 国際スポーツ大会助成 (第 31 回 IAU100Km 世界選手権～藤澤 舞/女子 10 位、第 3 次アルペン競技タレント発掘育成事業遠征～直江優作、ほか)

(4) 全国規模大会助成 (第 25 回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会～Safilva 北海道ジュニア/優勝、全日本ノービスカップショートトラックスピードスケート競技会～Red Oval Sapporo 島田あさ陽/優勝ほか)

ウ 青少年冬季スポーツ振興事業 (33 団体 33 事業 388 人)

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成を行った。(札幌オーロラフィギュアスケATINGクラブ、札幌フェニックスジュニアアイスホッケークラブほか)

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業 (12 事業 510 人)

札幌市から次世代のオリンピック選手及びトップアスリートを輩出することを目的に、オリンピック出場を目指し、ジュニア世代の選手の発掘・育成を行った。

ア 発掘事業 (3 事業 375 人)

市内小学生を対象に、運動に対する適性テストやセレクションを行い、スポーツ戦略アドバイザー(阿部 雅司氏)を中心とした有識者により、将来有望な子どもたちを発掘プロジェクト生として 12 名を選出した。

(7) 6 月 19 日 (日) サマージャンプ体験会 (荒井山シャンツェ) 参加者数 14 人

(4) 1 月 14 日 (土) スポーツ能力測定会 (北ガスアリーナ札幌 46) 参加者数 330 人

(4) 2 月 23 日 (木・祝) 第 2 期発掘プロジェクト選考会 (中島体育センター) 参加者 31 人 (12 人選出)

イ さっぽろジュニアアスリート発掘プロジェクト (1 事業 15 名)

発掘プロジェクト選考会より選出した有望な子どもたちをプロジェクト生として、育成 8 種目に特化したトレーニングや座学を実施した。また、育成事業の選手との合同研修会や種目練習会でレベルアップを図った。

ウ 育成事業 (8 事業 120 人)

冬季 5 種目・夏季 3 種目 (99 人 スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディックコンバインド、陸上、バドミントン、テニス) の競技団体と連携し、2030 年

までの長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内合宿の支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を図った。

全育成種目による合同研修会

(7) 6月26日(日)トレーニング実践①(北区体育館)

(イ) 10月12日(水)・13日(木)スポーツ栄養セミナー(中島体育センター/オンライン)

(ウ) 12月5日(日)メンタルトレーニング講習会(中島体育センター/オンライン)

(エ) 12月18日(日)トレーニング実践②(豊平区体育館)

4 スポーツ少年団の普及・育成事業(27事業 9団体 8,584人)

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行った(登録数218団 4,154人)。

(1) 派遣事業(6事業 75人)

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣。

ア 令和4年度日本スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール道央ブロック

開催日:1月21日(土)・22日(日)

会場:どうぎんカーリングスタジアム他

参加者:9人

イ 令和4年度北海道スポーツ少年団リーダー研修会

開催日:3月5日(日)

会場:北海道立総合体育センター

参加者:2人

ウ 第37回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会

開催日:7月16日(土)~18日(月祝)

会場:旭川ドリームスタジアム他

参加者:1チーム(17人)

エ 第20回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会

開催日:11月19日(土)・20日(日)

会場:深川市総合体育館他

参加者:団体男子1チーム(12人)、女子1チーム(9人)

オ 第37回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

開催日:11月23日(水・祝)

会場:千歳市開基記念総合武道館

参加者:団体2チーム(10人)、個人男子2名、個人女子:2人

カ 第20回日本スポーツ少年団バレーボール交流大会

開催日:3月24日(金)~26日(日)

会場:静岡県エコパアリーナ他

参加者:男子1チーム(12人)

(2) リーダー育成事業(1事業 14人)

札幌市スポーツ少年団リーダー講習会・運動適性テストの開催

開催日:12月4日(日)

会場:中島体育センター

参加者:14人

内 容：講義「スポーツ少年団の組織と運営」「リーダーの責任と役割」
実技「運動適性テスト」

講 師：講義…スポーツ少年団スタートコーチインストラクター 島本 俊男 氏
実技…スポーツ少年団体力テスト認定員 三浦 淳 氏

(3) 各種目交流大会（10 種目 17 事業 8,479 人）

軟式野球（2 事業 2,500 人）、サッカー（2 事業 1,062 人）、ミニバスケットボール（2 事業 3,504 人）、剣道（2 事業 614 人）、空手（1 事業 172 人）、バドミントン（2 事業 329 人）、冬季スポーツ（3 事業 105 人）、バレーボール（1 事業 72 人）、ソフトテニス（1 事業 57 人）、綱引（1 事業 64 人）競技の交流大会を開催した。※少林寺拳法 中止

(4) 指導者育成事業（1 事業 12 人）

指導者・母集団研修会の開催

開 催 日：2 月 18 日（土）

会 場：中島体育センター

参加者数：12 人

内 容：講義

「実践！グッドコーチング～ハラスメントのないスポーツ少年団活動を目指して～」

講 師：大阪体育大学大学院 教授 学長補佐 土屋 裕睦 氏

そ の 他：令和 5 年度登録、認定員資格移行についての事務説明

(5) 表彰（2 事業 3 団体 4 人）

ア 北海道スポーツ少年団表彰

指導者：2 人、市町村本部役職者：1 人

イ 札幌市優良少年及び青少年育成者表彰

団体の部：3 団体、育成者の部：1 人

5 健康・体力づくり推進事業（健康づくりセンター 513 事業 40,542 人）

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業（51 事業 31,150 人）

ア 健康増進・健診事業（8 事業 4,953 人）

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づき生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った（4 事業 1,057 人）。

また、健康診断を受ける機会が少ない 18 歳から 39 歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った（4 事業 3,896 人）。

イ 運動指導事業（43 事業 26,197 人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」などの自由参加プログラム（24 事業 25,273 人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（3 事業 552 人）。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行った（16 事業 372 人）。

(2) 健診・指導事業／受託事業（7 事業 656 人）

ア 健診事業（4 事業 629 人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」、「緊急肝炎ウイルス検査」及び「前立腺がん検診」等を行った。

イ 指導業務（3 事業 27 人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業（455 事業 8,736 人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（323事業 6,484人）のほか、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室（110事業 997人）を行った。また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者等を対象とした研修会などを開催した（22事業 1,255人）。

6 国際交流の推進事業（11 事業 5,078 人）

(1) 国際交流事業／指定管理事業（11 事業 5,078 人）

リフレサッポロ改修工事に伴う休館（令和4年5月から令和5年2月まで）のため、これまで国際交流館を会場としていた参加型交流事業については中止とした。「姉妹都市パネル展」や「JICA 北海道パネル展」等の展示会については、当協会管理施設である「北ガスアリーナ札幌 46」に会場を移し、スポーツに関連するものをセレクトして展示するなど、スポーツを通じて市民の国際理解や多文化共生の取組みを推進した。また、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止が続いていた「世界ふれあいミニひろば」については、2年ぶりに JICA 北海道と共催で開催した。

(2) スポーツ教室事業など

リフレサッポロ改修工事休館（令和4年5月から令和5年2月まで）及び指定管理期間満了（撤退）のためスポーツ教室は中止とした。

7 施設の管理運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館	136,674	28,509	165,183
東区体育館	88,953	22,026	110,979
白石区体育館	123,253	28,927	152,180
厚別区体育館	97,189	28,259	125,448
清田区体育館・温水プール	166,372	16,580	182,952
体育館	103,371	16,580	119,951
プー ル	60,447	0	60,447
体育館・プール共通	2,554	—	2,554
豊平区体育館	81,781	27,897	109,678
南区体育館	95,056	16,801	111,857
西区体育館・温水プール※ ¹	34,401	3,294	37,695
体育館	19,667	3,294	22,961
プー ル	14,328	0	14,328
体育館・プール共通	406	—	406
手稲区体育館※ ²	69,399	18,279	87,678
北ガスアリーナ札幌 46	113,061	99,209	212,270

施設名	個人利用	専用利用	合計
中島体育センター	67,746	32,327	100,073
宮の沢屋内競技場	18,355	18,222	36,577
白旗山競技場	2,880	14,757	17,637
合計	1,095,120 (前年度 735,220)	355,087 (前年度 242,880)	1,450,207 (前年度 978,100)

※1 札幌市による保全工事のためR4.6.1～R5.3.31休館

※2 札幌市による保全工事のためR4.9.1～12.27休館

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
厚別温水プール	94,536	2,861	97,397
豊平公園温水プール	55,023	1,570	56,593
平岸プール	118,082	14,379	132,461
白石温水プール	71,071	2,438	73,509
手稲曙温水プール	101,485	2,739	104,224
東温水プール	96,190	3,963	100,153
合計	536,387 (前年度 260,404)	27,950 (前年度 14,199)	564,337 (前年度 274,603)

ウ 札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
美香保体育館	31,089	75,321	106,410
体育館	4,209	23,180	27,389
スケート場	26,880	11,347	38,227
公園野球場	—	40,794	40,794
合計	31,089 (前年度 26,310)	75,321 (前年度 39,172)	106,410 (前年度 65,482)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	64,833	52,451	117,284
体育館	28,381	—	28,381
スケート場	36,452	52,451	88,903
月寒屋外競技場	604	14,917	15,521
ラグビー場	77	8,252	8,329
庭球場	—	6,268	6,268
弓道場	527	397	924
星置スケート場	11,616	32,703	44,319
どうぎんカーリングスタジアム	—	51,222	51,222
合計	77,053 (前年度 52,965)	151,293 (前年度 86,436)	228,346 (前年度 139,401)

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	23,758	193,929	217,687
野球場	—	107,860	107,860
陸上競技場※ ¹	19,787	37,541	57,328
庭球場	—	48,528	48,528
補助競技場	—	—	0
スケート場	3,971	—	3,971
麻生球場	—	61,748	61,748
野球場	—	59,156	59,156
庭球場	—	2,592	2,592
平岸庭球場	—	19,621	19,621
厚別公園競技場	34,872	124,864	159,736
主競技場	19,294	110,520	129,814
補助競技場	1,928	14,344	16,272
トレーニングルーム	13,650	—	13,650
合計	58,630 (前年度 22,242)	400,162 (前年度 229,065)	458,792 (前年度 251,307)

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計
スポーツ交流施設	73,881	222,202	296,083
屋内グラウンド	61,537	209,123	270,660
屋外テニスコート	—	8,731	8,731
パークゴルフ場	12,344	—	12,344
屋外球技場	—	3,648	3,648
イベント広場	—	700	700
合計	73,881 (前年度 28,752)	222,202 (前年度 341,622※ ³)	296,083 (前年度 370,374)

※³ R3 は新型コロナウイルスワクチン接種会場のため専用利用増

(単位：人)

体育施設合計	3,104,175 (前年度 2,079,267)
--------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計
中央健康づくりセンター	81,226	—	81,226
西健康づくりセンター	101,969	—	101,969
東健康づくりセンター	29,067	—	29,067
合計	212,262 (前年度 127,833)	— (前年度 —)	212,262 (前年度 127,833)

(3) 札幌国際交流館の利用状況（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館※4	3,769	1,446	5,215
プール	2,777	0	2,777
体育室	992	1,173	2,165
総合	—	—	0
ライラックホール	—	273	273
合計	3,769 (前年度 31,598)	1,446 (前年度 11,075)	5,215 (前年度 42,673)

※4 札幌市による保全工事休館（R4.5月～2月）

※R5.3.31をもって指定管理期間終了

全施設合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	3,321,652
前年度利用者数	2,249,773
増減	1,071,879

(4) 学校施設の開放事業/受託事業
ア センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	161	21	12	16	210
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	532,193 (前年度 315,504)	11,559 (前年度 2,337)	18,776 (前年度 10,655)	7,695 (前年度 2,210)	570,223 (前年度 330,706)

イ 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	107	1	108
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	561,163 (前年度 310,078)	306 (前年度 39)	561,469 (前年度 310,117)

ウ プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プール
開放校数	12
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	1,185 (前年度 0)

学校施設の開放合計

ア + イ + ウ (単位：人)

今年度利用者数	1,132,877
前年度利用者数	640,823
増減	492,054

8 情報提供及び調査研究事業

(1) 加盟団体情報の収集・提供

当協会ホームページにおいて各加盟競技団体の基本情報を紹介するとともに、ホームページの相互リンクを行い、利用者の利便性を向上した。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（ふりっばーなど）。

(3) 協会ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

また、コロナ禍での運動不足解消を目的に、自宅で出来る運動動画「運動不足の方へ健康エール」や子ども向けの運動動画「おうちで D0! スポ」をホームページで公開した。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査・分析・検証を行い、情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

(5) お客様満足度の調査並びに情報の提供

施設利用の満足度調査を実施し、利用者の利用形態、利用頻度、運動器具や施設環境の状況等について集計・分析するとともに、各施設に「ご意見箱」を設置し、利用者の要望や意見等を収集し、サービスの向上や業務改善に活用した。

9 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー11大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図った。

イ スポーツボランティアの育成支援

協会ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。また、スポーツイベントの活性化を図るため、NPO 法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟した。

(2) スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成事業

公益財団法人日本体育施設協会及び順天堂大学などとの連携による「公認体育施設運営士養成講習会」（40 名参加）を実施。また、一般社団法人幼少年体育指導士会との連携による「幼少年体育指導士認定講座」（14 人参加うち対面講座 4 名、遠隔 5 名、公開講座参加 5 名）を開催。健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

(3) 「事業連携包括協定」の締結と協働事業

北翔大学との「事業連携包括協力協定」により、大会の運営に学生が携わった。（7 大会 169 人）

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「運動あそび い・ろ・は」（5 施設 222 人）を実施した。

(4) インターンシップ受入事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため受入を中止した。

(5) プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

ア 北海道コンサドーレ札幌

(ア) クラブパートナー契約の締結

(イ) 北ガスアリーナ札幌 46 にてオフィシャルダンスドリルチーム「コンサドーレズ」と協働で「チアダンス教室」を開催

(ロ) 手稲区体育館にてコンサドーレサッカースクールを共同開催

イ エスポラーダ北海道

(ア) オフィシャルパートナー契約の締結

(イ) 北ガスアリーナ札幌 46 にて女子フットサルスクールを協働開催、その他 8 施設で SSA フットサル教室を協働開催

ウ レバンガ北海道

(ア) オフィシャルスポンサー契約の締結

(イ) 北ガスアリーナ札幌 46、清田区体育館・温水プール、手稲区体育館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催

エ 北海道日本ハムファイターズ

(ア) 手稲区体育館にて、ファイターズベースボールアカデミー、北ガスアリーナ札幌 46 にてファイターズフィジカルアカデミーを協働開催

オ サフィールヴァ北海道

(ア) オフィシャルパートナー契約の締結

(6) 役員就任など

「札幌市中学校体育連盟選手権大会、新人戦大会顧問」など、役員への就任による運営協力、「全日本クラブ男子ソフトボール選手権大会」「札幌陸上競技フェスティバル」などのスポーツ大会の後援（113 事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

(7) 物品販売・貸付及び飲食店業

売店、自動販売機にて物品販売並びに各施設においてスポーツ用具貸出、有料コインロッカーや更衣室用ドライヤーの設置、スポーツ交流施設においてはレストラン営業を実施した。

10 社会貢献事業等

(1) 環境保全活動

植栽などの実施、生物多様性さっぽろ応援宣言企業への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

(2) 地域防犯活動

地域における防犯・安全活動への協力として、31 施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども 110 番の店として防犯活動を推進した。

(3) 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。

(4) 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援 B 型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

(5) サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力した。

(6) 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金に協力した
(募金額：145,763円)。

(7) 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

1.1 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数 (人)
指定管理施設の運営事業 (講習会・教室、大会などの参加者数含む)	3,321,652
学校施設の開放事業 (講習会など含む)	1,132,877
スポーツ・健康づくり事業の開催など (指定管理施設外)	32,484
合 計	4,487,013 (前年度 2,908,892)
増 減	1,578,121

(2) 収支

収 入 4,256,330,337円

経 費 4,287,347,184円

1.2 処務の概況

(1) 令和4年度末役員・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
会 長	生島 典明	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
理 事 長	石川 義浩	R4. 4. 1	R4. 4. 1	常 勤
常務理事	柴田 幸雄	R2. 6. 26	R3. 7. 6	常 勤
常務理事	長澤 茂嗣	R2. 4. 1	R3. 7. 6	非常勤
理 事	星 満	H25. 4. 1	R3. 6. 28	常 勤
理 事	川島 行雄	H27. 6. 26	R3. 6. 28	常 勤
理 事	前 淳一	R元. 6. 26	R3. 6. 28	常 勤
理 事	笹木 裕介	R3. 6. 28	R3. 6. 28	常 勤
理 事	沖 洋安	R元. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
理 事	沖田 孝一	R元. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
理 事	野坂 政司	R2. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
理 事	佐藤 勝美	R2. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
理 事	山崎 文子	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
理 事	北島(川端) 絵美	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
監 事	高間 亨	H30. 6. 27	R3. 6. 28	非常勤
監 事	庄司 正史	R3. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤

評議員	川初 清典	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	晴山 紫恵子	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	堀田 真理	H29. 6. 29	R3. 6. 28	非常勤
評議員	柳原 正明	H28. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	紺谷 好範	R2. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
評議員	中目 晃嗣	R4. 6. 29	R4. 6. 29	非常勤
評議員	平澤 光志	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
評議員	阿部 雅司	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
評議員	安岡 直美	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤

(2) 令和4年度末職員数（単位：人）

職種／性別	男性	女性	合計
正職員	120	38	158
契約職員	51	58	109
臨時職員	7	2	9
パート職員	219	366	585
合計	397	464	861

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第1回 令和4年4月1日	(1) 第1号議案 役職理事の互選について
第2回 令和4年6月14日	(1) 第1号議案 令和3年度事業報告について (2) 第2号議案 令和3年度決算及び監査報告について (3) 第3号議案 令和3年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第4号議案 令和4年度定時評議員会の開催について
第3回 令和4年6月29日	(1) 第1号議案 令和4年度収支予算の変更について (2) 第2号議案 内部通報に関する取扱規程の改正について
第4回 令和4年9月8日	(1) 第1号議案 次期指定管理者の応募について (2) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)
第5回 令和4年10月7日	(1) 第1号議案 諸規程の改正について (2) リスク管理委員会からの報告について
第6回 令和5年2月21日	(1) 第1号議案 職員就業規則及び各職員就業規程等の改正について (2) 第2号議案 職員給与規程及び職員退職金支給規程の改正について (3) 第3号議案 常勤役員報酬規程の改正について (4) 第4号議案 令和4年度収支予算の変更について

第7回 令和5年3月30日	(1) 第1号議案 令和5年度事業計画について (2) 第2号議案 令和5年度収支予算について (3) 第3号議案 会社役員賠償責任保険契約への加入と内容について (4) 第4号議案 諸規程の改正について (5) 第5号議案 重要な使用人の選任について (6) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)
------------------	--

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 令和4年6月29日	(1) 報告第1号 令和3年度事業報告について (2) 報告第2号 令和3年度公益目的支出計画実施報告について (3) 第1号議案 令和3年度決算及び監査報告について (4) 第2号議案 評議員の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	平成30年 3月期	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期
経常収益	4,371,925	4,237,526	4,281,698	3,601,812	3,744,595	4,256,330
経常費用	4,275,598	4,195,775	4,316,136	3,742,355	3,949,300	4,287,347
当期経常増減額	96,327	41,751	△34,438	△140,543	△204,705	△31,017
経常外収益	-	-	93,483	165,566	254,205	-
経常外費用	1,517	205	-	-	-	-
法人税等	12,497	19,887	29,012	520	41,169	520
当期一般正味財産増減額	82,313	21,659	30,033	△24,504	8,331	△31,537
期首一般正味財産額	1,358,342	1,440,655	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182
期末一般正味財産額	1,440,655	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645
当期指定正味財産増減額	-	-	-	52,000	△13,000	△13,000
期首指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	20,000	72,000	59,000
期末指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	72,000	59,000	46,000
期末正味財産額	1,460,655	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645
資産合計	3,053,332	2,994,717	2,969,520	2,872,565	3,008,356	2,836,602
負債合計	1,592,677	1,512,403	1,457,173	1,283,714	1,424,174	1,296,957
正味財産	1,460,655	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。